

# すぐできるコストダウン

—道戦略事業 省エネ普及セミナー—

## 電気料金の下げ方詳説

北海道地域創生省エネ・節電普及啓発プロジェクトコンソーシアムが主催する「北海道戦略的省エネ普及セミナー」根室市が十四日、市総合文化会館で開かれた。この日は、市内の水産会社や市役所など、各企業を代表する総勢約二十人が出席。(株)あかりみらい代表取締役のエネルギーコンサルタント・越智文雄さん(左)が講師を務め、省エネ、補助金、電力自由化などについてアドバイスした。

越智さんは、北電に約三十年間勤務し、二〇〇八年の北海道洞爺湖サミットで環境総合事務局局長を務めた。二〇一一年三月の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故が転機となり、北電を辞めて翌年八月

に「あかりみらい」を設立した。政府が道民にも数値目標付きの節電を要請するなど、全国的に電力不足が市内の企業代表者へ、コストダウンのアドバイスをする越智さん



深刻化する中で取り組みを後押ししようと思いついた。

あかりみらいは、LED導入をはじめ空調や暖房、給油などさまざまな省エネアドバイスでコストダウンに協力。今年度は北海道の「戦略的省エネ促進事業」の採択を受けて、メーカーや、金融機関と巡回型省エネセミナーを開催。業界や商工会、地域工業団地などでの勉強会を行っており、根室市では今回初めて開いた。セミナーで越智さんは、

出席した市内の企業代表者に対し、「LEDなら自己資金を使わずに、節電分で支払い可能。だから借金してでも今すぐ変えた方がお得です」と呼び掛け、そのメリットを説明したほか、今すぐコストダウンできる方法を紹介。

また、今春からスタートする電力自由化についても話したほか、水産・冷凍業界向け自然冷媒機器導入補助金についてスライドを使って丁寧に説明した。二〇二〇年にはエネルギーを多く消費する白熱灯や蛍光灯など、国内で生産中止になる見通しで、越智さんは、「生産中止になる前に早めに準備してほしい」と話していた。(成田)